

令和2年10月5日

報道発表

浜松市

デジタル・スマートシティ推進事業本部

TEL：053-457-2454



浜松市

LED 投光器(ホロライト)を用いたムクドリ対策実証実験のお知らせ

浜松市では、街中において以前から課題となっているムクドリ対策について、官民が連携して先端技術（LED 投光器（ホロライト））を活用したムクドリ対策実証実験を下記のとおり実施いたします。

本実証実験は、データ連携基盤「FIWARE（実証環境）」とデータを活用した実証実験プロジェクト「Hamamatsu ORI-Project」の採択プロジェクトの一つとなっております。

記

実験場所： 浜松市 中区 鍛冶町 15 周辺（鍛冶町通南側の街路樹 10 本が対象）

実験内容： 鍛冶町通南側の街路樹 10 本に対し、鍛冶町通北側のアーケード屋根に設置した指向性の高い LED 投光器（ホロライト）の光を自動照射し、ムクドリの反応を観察する。

実験期間： 令和2年10月6日（火）～ 令和2年10月30日（金）

・実施時間： 17時 ～ 21時まで

・天候などの条件により、変更の場合もありますのでご了承ください。

特記事項： ・交通規制などはございません。

・実験は無人で行うため、前触れなく街路樹に向けて光が照射される、ムクドリが急に飛び立つ、などの現象が発生する可能性があります。

・対象の街路樹には簡易的な看板を設置いたします。

担当者： パイフォトニクス株式会社

連絡先：053-581-9683

担当：清水

浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部

連絡先：053-457-2454

担当：市橋

以上

【連絡先】浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部

TEL 053-457-2454 E-mail:dsc@city.hamamatsu.shizuoka.jp

実証実験プロジェクト名称

光と画像データを活用した中心市街地におけるムクドリ被害対策

背景・目的

<背景>
街路樹をねぐらとするムクドリの大群による騒音及び糞により、浜松市の中心市街地の景観が損なわれている。

<目的>
浜松市の課題である中心市街地におけるムクドリ被害を解消し、きれいな景観を取り戻す



概要

<内容>
・浜松ザザシティ前向かいの店舗アーケードの屋根根上に定点カメラとムービング機能を搭載したLED投光器（ホロライト）を設置する。
・浜松ザザシティ前の街路樹（実験の対象は10本）をねぐらとするムクドリの群れに対して指向性の高いLED光を投射することで刺激を与え、目的地まで誘導してムクドリ被害を軽減させる。
・街路樹から街路樹へ移動をするムクドリをカメラで捉えて、画像解析によりムクドリの動きを検知・追跡し、自動でライトを動かして光を当てる。



スケジュール

項目	9	10	11	12
全体	準備・機器設置	実証実験①	結果分析・改良	実証実験②
詳細	★機器設置	★実証実験①開始		★実証実験②開始(予定)

位置図



使用機器イメージ

